

記念花壇・ハンギングバスケット・門松

～人材バンク講座「園芸」が花と緑のまちづくりに活躍～

この様子は
右で紹介➡



▲ハンギングバスケットが彩る市民会館前



▲昨年末に市民会館前を門松で飾りました



人材バンク講座「園芸」の加来浅夫講師と受講生が、花植えや子どもたちへの花植え指導、門松づくりなどのボランティア活動をしました。

9月には市民会館とひかりが丘付近の美しいまちづくり記念花壇にハンギングバスケットを飾りました。

11月には公共施設をハンギングバスケットで飾るため、4つの施設で子どもたちに花植えを指導しました。

12月には市民会館、ひかりが丘付近の美しいまちづくり記念花壇、風治八幡宮、春日神社に葉ボタンや門松を飾りました。門松ですぐすがい新年を迎えることができました。



▲ひかりが丘の記念花壇に花植え



園芸好きな会員を募集

人材バンク講座「園芸」では、野菜や花を育てるだけでなく、子どもたちに花植えを指導しています。参加してみませんか？

田川市市民活動団体登録受付中

登録しました 田川市聴力言語障害者福祉協会

(主な活動分野：福祉)

【会の紹介】聴力に障がいがあっても安心した暮らしができるための活動に取り組んでいます。

【活動紹介】聴力障がいについての「入門・基礎講座」の講師、「ふくしまつり」などの通訳者養成、手話言語条例やリーフレットの作成を推進しています。依頼を受け、聴力障がい者への理解を深めるミニ講演を開催します。気軽に連絡してください。

【代表者】菅 操さん

【設立】昭和50年

【連絡先】田川市社会福祉協議会
経由 (☎44-5757)



▲リーフレットの作成に時間をかけて思いを込めました

開催!!

介護保険と障がい者福祉

～共生型サービスの創設を講演～

現在、障がい者を取り巻く制度が変わりつつあります。国が進める「我が事・丸ごと」は、地域共生社会実現本部が提唱する規制緩和・福祉への競争原理導入の流れを汲んでいます。

障がい者は65歳になると、障がい者福祉から介護保険に移行するため内容や料金が変わります。平成30年に共生型サービスが介護保険に創設されるとどうなるかを学ぶ講演です。

●とき 2月17日(土)13時～16時

●ところ 田川市民会館

●演題 共生型サービスのねらいと報酬改定のゆくえ

●講師 小野 浩さん(社福)ウイズ町田理事長
・きょうされん常任理事/政策調査委員長

※「きょうされん(共同作業所全国連絡会)」とは障がいのある人が地域で働く・活動する・生活することを応援する事業所の全国組織です。

●資料代 300円

●問い合わせ つくしの里 (☎44-5615)

田川市さわやかまちづくり提案事業
主催：障害者週間を考える連絡会



子どもたちが公共施設を花で飾る ～ハンギングバスケットづくり～

11月29日と30日に、市の公共施設をハンギングバスケットで飾る「美しいまちづくり(5千人ボランティア推進事業)」に、4施設の子どもたちが参加しました。



市立幼稚園・中央保育所
子育て支援センター

子ども
センター
まいまい



当日は人材バンク講座「園芸」の加来浅夫講師がゲストティーチャーとして受講生と一緒に花植えを指導しました。「どの色にする？」参加した子どもたちは保護者や保育士、幼稚園教諭と一緒にパンジーやビオラの花の色を選びながら植えました。

冬から春にかけて、各施設の外壁を飾る色とりどりの花が、訪れる人を楽しませることでしょう。

【ハンギングバスケット】吊るしたり壁に掛けたりして楽しむプランター的一种です。



西
保育所



児童
センター



北
保育所

